

## 平成 30 年度 第 3 回 庁舎建替庁内検討委員会 会議録

《日 時》 平成 30 年 12 月 4 日（火） PM2:00~4:00

《場 所》 職員会館 2 階 大会議室

《出席者》 市長公室長、企画調整部長、総務部長、市民環境部長、危機管理部長、保健部長、子育て応援部長、まちづくり推進部長、建設部長、会計管理者、上下水道局長、議会事務局長、教育総務部長、学校教育部長、生涯学習部長、選挙管理委員会（監査）事務局長、市民病院事務局長

《事務局》 公共施設マネジメント課長・課員 2 名

庁舎整備計画策定業務（建設地決定等）受託事業者 担当者 3 名

### 【議題 1】 庁舎建設候補地の比較検討 客観的評価結果について

#### ー 公共施設マネジメント課による説明 ー

客観的評価について、評価項目の配分は 1 次評価（平成 30 年度第 1 回庁舎建替庁内検討委員会）の設定と同じである。各項目については、○、△、×で評価している。

定量的な評価が困難であり評価の対象外とした項目に、「跡地の活用方策」、「市民意向」がある。「跡地の活用方策」は、サウンディング型調査の実施結果から、いずれの敷地においても絶対的な民間活用のポテンシャルは確認できなかったこともあり、評価を行わなかった。「市民意向」は、説明会等でいただいた主な意見として、現庁舎の地元町会からは移転して跡地となった場合のまちづくりという観点で多くの意見や、福祉センターの地元町会からは庁舎が移転した場合の具体的な交通対策を望む意見であったが、建設地の決定後でなければ具体的な検討・計画としてまとめることが困難であり、評価を行わなかった。

### 【議題 2】 市民からの意見、要望等について

#### ー 公共施設マネジメント課による説明 ー

市民向説明会の開催状況について、それぞれの候補地の地元町会及び、市全域を対象とした説明会（各市民センター・市立公民館）を行っている。

頂いた意見・要望については、建設候補地の評価指標の考えにも反映させてはいる部分もあるが、庁舎の機能や跡地利用などの建設地が決まってから検討するような話もあり、これからの基本計画づくりの中で十分考慮し、また説明不足にならないように、説明会や情報発信を心がけて検討を進めていく。

評価結果について評価の根拠を整理し、来年 1 月の政策調整・決定会議に建設地について諮る。

#### ー 庁内検討委員会での主な意見 ー

- ① 余剰スペースの考え方で、隣接して活用できる敷地を考慮するのかどうか。
- ② コミュニティバスの交通アクセスに供する公共交通機関としてどう取り扱うか。
- ③ ライフラインの評価は、電力、通信、ガス事業者に加えて、上下水道についても考慮すべき。
- ④ 同じ調査結果を用いた検討項目において、表現に食い違いがあると誤解を与える点は訂正すべき。